

理系学生の留学

みなさんは、海外留学について調べてみたことはありますか？海外留学に行ってみたいけどどのように準備を始めたらいいかわからないといった方もいるかと思います。今回の学習ガイドでは、2026年1月に行った「先輩に聴く！理系学生の留学について」のセミナーの内容をまとめ、特に理系の学生の留学と、その準備について自身の経験をもとに紹介したいと思います。

短期交換留学（派遣）プログラム

この制度は、琉球大学と海外の大学との間で締結した学生交流規定に基づくものです。在学したまま留学することができ、単位互換も可能です。私は主にこの制度を利用して、1学期の約4ヶ月間、ハワイ大学マノア校に交換留学にいきました。

参考：[短期交換留学（派遣）制度](#) | 琉球大学学生部 国際教育課

トビタテ留学JAPAN

私はこの、トビタテ留学JAPANという奨学金制度を利用しました。トビタテ留学JAPANは官民協働のもと社会総掛かりで取り組む「留学促進キャンペーン」であり、返済不要の奨学金プログラムです。ただ留学に行くだけでなく、留学前前後の研修やトビタテ生との交流など、他の留学奨学金とは異なる特徴があります。

参考：[【文部科学省】トビタテ！留学JAPAN - その経験が、未来の自信。](#)

ボランティア

現地ではワイキキ水族館にて生物の解説ボランティアを行いました。ボランティアなど実践活動の実施もトビタテ留学JAPANの応募要項の一つです。留学しながらボランティアに参加してみたい場合、ボランティア開始の半年前にはボランティア先にアポイントを取ることをお勧めします。

留学先を決める

自分が留学で何を学びたいのかといった、留学する目的をしっかりと持っておくことが重要だと思います。そして交換留学に応募する際には、なぜその大学でないといけないのか、何を学べるのか、といったことが聞かれます。理系の場合には、その大学独自の研究を学べたり、機材を使わせて頂ける場合もあるかもしれません。よく考えてみてください。

交換留学のための語学試験

交換留学では、各留学先の大学が指定する語学試験のスコアが必要です。私は英語圏に留学したため、IELTS、TOEFLといった英語の試験のスコア提出が必要でした。私は英語がとても苦手であったため、猛勉強をし、無事に求められているスコアを取得することができましたが、かなりギリギリとなってしまいました。留学を考えているみなさんは早めにこのような試験を受けておくことをお勧めします。

最後に

留学してみると、計画外のことも多く起こりますが、現地の友達や研究関連の思わぬコネクションができたりと、得られるものも大きいです。また、私はトビタテ留学JAPANを利用しましたが、他にも様々な留学奨学金があるため、よく調べてみてください。そして、国際教育課を訪ね、留学に関する相談もされてみると、より良いアドバイスを得られるかもしれません。

(理工学研究科M1 生物系TA)